

第 3 回検討委員会の確認事項

「具体的な対応策について」

・設置場所について

設置場所は、高知市もしくは高知市に近い東部地域が良い。

・設置学部について

小・中・高一貫が望ましいが、人数規模などを考えると、まずは高等部、そして中、小の優先順位になる。

・通学について

スクールバスの運行は必要。運行時間は最大でも 1 時間が目途となる。

通学困難者がいる場合には、寄宿舎の設置もあり得る。

・人数の規模と整備期間について

喫緊の課題への対応と考えると、40～50 人規模の対応が必要。期間はより短いほうが良い。

・校区について

校区の調整については関係市町村との協議が必要で、他校とのバランスを考える必要がある。

・今後の特別支援学校に期待したい機能や役割について

特別支援教育のセンター的機能の強化

インクルーシブ教育、特別支援教育推進の拠点

卒業後の支援について、福祉との連携を図る

保護者支援の機能をもたせる